

犬山市議会報告第6号

令和7年度犬山まちづくり株式会社決算等について

犬山まちづくり株式会社の令和7年度決算並びに令和8年度事業計画及び予算について、地方自治法（昭和22年法律第67号）第243条の3第2項の規定に基づき、別紙のとおり報告する。

令和8年8月28日提出

犬山市長 原 欣 伸

（説 明）

犬山まちづくり株式会社の決算等を報告するものである。

第1号 議案

犬山まちづくり株式会社

令和7年度 事業報告

自 令和7年4月1日

至 令和8年3月31日

1.事業報告

平成15年（2003）9月にTMO犬山まちづくり株式会社が設立されてから、本年度23年が経過しました。思い起こせば、当時は犬山城への登閣入場者数が年間20万人に届かず、本町通りはシャッターが目立ち、人通りは疎らな状態でありました。そんな中、往時の賑わいを取り戻すべく、中心市街地活性化法のもと、弊社が設立されました。やがて変化の兆しが見られるようになったのは、平成19年から実施された、犬山キャンペーンは、犬山市と犬山市観光協会と名古屋鉄道がコラボして、さらには「お城ブーム」「歴女ブーム」とが相まって犬山城への登閣入場者数がぐんぐん伸び、やがては観光客が城下町へと流れ込んでくるようになりました。そして弊社においては、駅西地区利活用事業と併せた駐車場運営も現在2か所で事業展開しておりますが、いずれも順調に推移しており、空き家・空き店舗事業も本年度1店舗増え、出店希望者も引く手あまたの状態であります。さらには、弊社直営店である「犬山特産品館」も平成24年（2012）にオープンして以来、立地の良さもあって、コロナ禍においても、インバウンドの変移はあるものの堅調に営業しつつ、地場産業のPRに努めております。

県内外からの視察の受入れも例年の如く数多く、その折犬山サクセスストーリーを語るうえで、名前があがるのは、このお二人であります。弊社設立当時の犬山市長であった石田芳弘氏は「温故知新」を唱え、電線の地中化を含む城下町の基盤整備を実施し、今日の賑わいとなる礎を築きました。そして、もう一人はそれを踏まえ近江商人の商人の心得である「三方よし」と「継続は力なり」を提唱し、弊社による各種事業展開を発案しTMOとしての役割を強力に前進してきた弊社社長の日比野良太郎氏であります。この二人の共通点は何かといえば心底流れる「郷土愛」に他ならないと思います。

さて、最近の報道によると、犬山城への登閣入場数が2025年には69万2852人に達し、記録が残る1964年以降で最多を更新したとあります。城下町の賑わいも衰えを知らず、視察に来犬された方々では一様に驚かれます。

その折に必ず出る質問に、どうしてこのまちの賑わいが20有余年も続いているのか理解に苦しむ、というものであります。その答えにはいくつかの要因をあげることができませんが、その他に、先人から受け継いできた歴史的風致が残る町並みなのか、犬山祭などで培われてきた町衆気質による「おもてなし」によるものなのか、その答えを一言で言い表すには犬山に在る者が故の難問かもしれません。

その他弊社事業に関しましては、順調に推移してきております。

2. 実施事業

事業名	事業内容等
空き家・空き店舗事業	* 貳番屋 1.2.3.7.10.11.14.15.16.17.18 号館の建物の管理・運営 * 駐車場の管理・運営 * 貳番屋 12 号館（直営店犬山特産品館）の管理・運営 * 空き家・空き店舗の利活用・情報発信
犬山駅西口地区利活用事業	* 駐車場の管理・運営 * 駅西店舗（Vドラッグ）の利活用 * 市管理の駐輪場設置への協力
駐車場事業	* 民間所有駐車場の管理・運営 * 犬山城下町西駐車場の管理・運営
貳番屋事業	* 視察、研究の受け入れ ・ 岐阜県商工労働部(4/30) ・ 名古屋 ECO 動物海洋専門学校(7/3) ・ 山梨県北杜市商工会議所(7/16) ・ 立正大学生(7/23) ・ 国土交通省都市局公園緑地景観課 (7/31) ・ 愛知大学生・准教授(9/2) ・ ㈱日建設計 (9/3) ・ 岐阜商工会議所(10/1) ・ 岐阜県庁文化創造課(9/23) ・ 岐阜商工会議所(10/16) ・ 犬山中学校生(10/16) ・ 千歳商店街(11/5) ・ 立正大学生(11/12) ・ 中京大学生(12/2) ・ 豊橋市（とくや会）(12/7) ・ 国土交通省都市局公園緑地景観課 (2/7) ・ 豊川商工会議所(2/9) ・ 国土交通省都市局 (3/24) ・ 岐阜かわらまちづくり会(3/28) * 酒販免許による焼酎・ワイン・どぶろく等の販売
どんでん朝市事業	* どんでん朝市の開催支援（下本町で 8 店舗出店）
観光客誘致・ 中心市街地活性化事業	* 犬山特産品館の管理・運営（貳番屋 12 号館） * 各種イベント等の支援・協賛 * 城下町の交通対策への協力金

3. 会議等

会議名等	内 容
株主総会	第 22 回株主総会実施（R7.5/23）
取締役会	取締役会を4回開催 （R7.5/8、8/21、11/21、R.8.2/20）
役員会	12 回開催 （四役、GM、事務局、市、会議所、その他）
その他	式番屋合同テナント会議開催 犬山どんでん朝市会総会

4. 貸借対照表

貸 借 対 照 表

令和 8年 3月31日 現在

(単位：円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流 動 資 産】	【 68,395,758】	【流 動 負 債】	【 22,088,062】
現 金	700,919	買 掛 金	1,988,499
当 座 預 金	501,065	短 期 借 入 金	5,520,000
特 産 レ ジ 現 金	149,007	未 払 金	2,376,785
普 通 預 金	59,098,000	未 払 配 当 金	23,874
商 品	551,833	未 払 法 人 税 等	3,218,400
貸 付 金	4,502,400	前 受 金	3,959,630
未 収 入 金	1,719,156	預 り 金	87,874
仮 払 金	113,000	短 期 建 設 協 力 金	4,500,000
前 払 費 用	1,060,378	前 受 収 益	12,800
【固 定 資 産】	【 190,195,153】	未 払 消 費 税 等	400,200
[有 形 固 定 資 産]	[184,871,760]	【固 定 負 債】	【 36,866,934】
建 物	103,669,656	長 期 借 入 金	3,020,000
建 物 附 属 設 備	10,299,881	受 入 保 証 金	6,824,000
構 築 物	7,641,623	長 期 建 設 協 力 金	27,000,000
工 具 器 具 備 品	490,670	長 期 前 受 収 益	22,934
土 地	62,769,930	負 債 合 計	-58,954,996
[無 形 固 定 資 産]	[1,246,293]	純 資 産 の 部	
借 地 権	1,170,750	【株 主 資 本】	【 199,844,582】
電 話 加 入 権	75,543	[資 本 金]	[30,000,000]
[投 資 そ の 他 の 資 産]	[4,077,100]	[利 益 剰 余 金]	[169,844,582]
出 資 金	100	利 益 準 備 金	300,000
差 入 保 証 金	4,077,000	(そ の 他 利 益 剰 余 金)	(169,544,582)
【繰 延 資 産】	【 208,667】	繰 越 利 益 剰 余 金	169,544,582
繰 延 資 産	208,667	純 資 産 合 計	199,844,582
資 産 合 計	258,799,578	負 債 ・ 純 資 産 合 計	258,799,578

5. 損益計算書

損 益 計 算 書

自 令和 7年 4月 1日

至 令和 8年 3月31日

(単位：円)

科 目	金 額	
【純 売 上 高】		
空家等事業収入	25,470,380	
式番屋売上高	251,424	
駐車場売上高	15,670,566	
どんでん朝市収入	87,273	
犬山特産品館売	25,898,666	
V ド ラ ッ グ	25,200,000	92,578,309
【売 上 原 価】		
期首棚卸高	729,056	
式番屋仕入高	150,136	
空家等事業経費	11,609,500	
駐車場事業費	7,064,436	
犬山特産品館経費	18,572,777	
合 計	38,125,905	
期 末 棚 卸 高	551,833	37,574,072
売 上 総 利 益		55,004,237
【販売費及び一般管理費】		33,561,557
営 業 利 益		21,442,680
【営 業 外 収 益】		
受 取 利 息	95,735	
雑 収 入	3,082,179	3,177,914
【営 業 外 費 用】		
支 払 利 息	213,514	213,514
経 常 利 益		24,407,080
【特 別 損 失】		
固定資産圧縮損	3,068,000	3,068,000
税引前当期純利益		21,339,080
法人税、住民税及び事業税		6,410,700
当 期 純 利 益		14,928,380

6. 販売費及び一般管理費

販売費及び一般管理費

自 令和 7年 4月 1日

至 令和 8年 3月31日 (単位：円)

科 目	金 額
役 員 報 酬	2,420,000
役 員 賞 与	210,000
給 料 手 当	8,627,795
賞 与 手 当	975,080
法 定 福 利 費	742,422
福 利 厚 生 費	433,405
広 告 宣 伝 費	1,949,719
旅 費 交 通 費	171,363
交 際 費	113,262
会 議 費	6,197
通 信 費	160,562
租 税 公 課	2,409,100
消 耗 品 費	140,440
事 務 用 品 費	170,967
賃 借 料 犬 山 市	4,588,000
修 繕 費	54,000
保 険 料	592,646
支 払 手 数 料	201,591
諸 会 費	200,000
減 価 償 却 費	9,389,099
現 金 過 不 足	1,100
雑 費	4,809
合 計	33,561,557

7. 株主資本等変動計算書

株 主 資 本 等 変 動 計 算 書

自 令和 7年 4月 1日
至 令和 8年 3月31日

(単位：円)

株主資本

資本金	当期首残高及び当期末残高	30,000,000
-----	--------------	------------

利益剰余金

利益準備金	当期首残高及び当期末残高	300,000
-------	--------------	---------

その他利益剰余金

繰越利益剰余金	当期首残高	154,616,202
	当期変動額 当期純利益	14,928,380
	当期末残高	169,544,582

利益剰余金合計	当期首残高	154,916,202
	当期変動額	14,928,380
	当期末残高	169,844,582

株主資本合計	当期首残高	184,916,202
	当期変動額	14,928,380
	当期末残高	199,844,582

純資産合計	当期首残高	184,916,202
	当期変動額	14,928,380
	当期末残高	199,844,582

8. 個別注記表

個 別 注 記 表

自 令和 7年 4月 1日

至 令和 8年 3月31日

1. この計算書類は、中小企業の会計に関する指針によって作成しています。

2. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) 固定資産の減価償却の方法

①有形固定資産

定率法（但し、平成10年4月1日以降に取得した建物（附属設備を除く）は定額法）

②無形固定資産

定額法

(2) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税抜方式により処理しております。

別紙の通り報告致します。

令和 年 月 日

犬山まちづくり 株式会社

代表取締役

日比野良太郎

取締役

長谷川 勲

取締役

米澤 邦弘

取締役

井川 光雄

取締役

永井 恵三

取締役

松浦 英幸

取締役

松田 昇平

取締役

澤野 準二

取締役

奥村 好樹

9. 監査報告書

監 査 報 告 書

令和8年5月25日

犬山まちづくり株式会社

代表取締役 日比野 良太郎 殿

犬山まちづくり株式会社定款第36条の規定により、令和8年5月8日
犬山まちづくり株式会社事務局に於いて、令和7年度（令和7年4月1日よ
り令和8年3月31日まで）収支決算について詳細にわたり監査いたしまし
たところ、その内容は適正であると認めましたので、ここに報告いたします。

監査役

眞野 健二 

第2号 議 案

任期満了に伴う取締役選任の件

(提案理由)

定款第23条・第24条の規定により、取締役の選任について提案する
ものです。

令和8年5月25日提出

犬山まちづくり株式会社

代表取締役 日比野 良太郎

(参考資料)

犬山まちづくり株式会社
令和 8 年度 事業計画
自 令和 8 年 4 月 1 日
至 令和 9 年 3 月 31 日

1. 基本方針

犬山まちづくり株式会社といたしましては、令和 8 年度は中心市街地活性化に資する以下の 8 つの事業を重点に事業展開をまいります。

(1) 点から線、線から面への展開

弊社は中心市街地活性化を担う第三セクターの会社であります。

観光客等で賑わう本町通り界隈を凝視しつつ、次なる展開を考察してまいります。

南北に走る本町通りの東西の大本町通り、練屋町、鍛冶屋町通り、さらには魚新通りにも、寺内町通りにも視野を広げて、活性化へとつなげてまいります。

(2) 中心市街地における空き家・空き店舗事業

空き家・空き店舗の情報収集や家主との折衝等、本町通り以外にもエリアを拡げ積極的に事業展開をまいります。更には需要が高まりつつある古民家宿泊やゲストハウス等を視野に入れ、更なるまちの活性化に繋げてまいります。

(3) 犬山駅西口地区利活用事業

平成 25 年 4 月 18 日に竣工式を終え、同月 25 日には中部薬品株式会社 V ドラッグ 犬山駅前店がオープンして、13 年が経過いたしました。営業も順調のようで、弊社の財政基盤の大きな柱となっております。併設の弊社直営の駐車場の管理運営につきましては近隣の営業店に働きかけ、常用顧客を獲得し、駐車場の有効活用を促進して弊社の財政基盤の安定と強化に努めてまいります。

(4) 直営店「犬山特産品館」の堅持

平成 24 年 9 月にオープンいたしました「犬山特産品館」の管理運営であります。立地条件の良さもあって多くの観光客にご利用いただいておりますが、より経営体質の改善をめざし、より良い店内ディスプレイの考案、より良い品揃えは勿論のこと、犬山市特産品協会とは連携を密にしながら犬山の魅力を発信してまいります。

姉妹都市、友好都市と連携しながらアンテナショップ的な役割を果たしてまいります。

(5) ホスピタリティーの醸成とリピーターの確保

式番屋 1 号館から 17 号館の各入店者の皆さんとは、テナント会議をもち、円滑な運営方法や情報交換、観光客の入り込み増などについて議論しておりますが、リピーターをいかに多く確保していくかについては、おもてなしの心の醸成や共同企画などを

立案し、犬山の魅力アップにつなげていくなど、勘案してまいります。さらには関係団体との意見交換や情報交換など、活発に議論してまいります。

(6) どんでん朝市事業

令和8年で20年目をむかえます犬山どんでん朝市も、堅調に推移しておりますが、さらなる発展と下本町ビル再開発を視野に捉え、さらには堀部家住宅への導線にも考慮してまいります。

(7) 駐車場事業

平成25年10月より民間所有の駐車場の管理運営を委託され、引き続き受託してまいります。

弊社直営の犬山城下町西駐車場は平成27年9月にオープンして以来、城下町への観光客の入り込みの増加もあり、その役割がますます高まってきており、その使命である観光客の城下町への誘導や利便性をさらに考慮してまいります。

(8) 犬山城下町進化計画事業・まちの活性化に資する各事業への協賛

年を追うごとに目に見えて観光客の城下町への入り込み数が増えております。

しかしながら現状に安堵することなく、中長期的視点においてもアイデア、考察によって城下町のより良い未来のため、どのような進化を遂げるべきか調査・研究をしてまいります。

協賛事業については、11月開催、犬山城下町花魁まつり、3月開催の犬山城下町女狐行列。昨年より事務局を担っております4月開催の犬山大茶会、今年度から開催予定の犬山健康長寿会など、様々な企画を計画しております。

また、犬山市発行の広報広告事業とホームページバナー広告の参加と犬山城下町エリアの交通誘導警備業務の協賛を引き続き行って参ります。

2. 事業計画

事業名	事業内容等
空き家・空き店舗事業	* 貳番屋 1.2.3.7.10.11.12.15.16.17.18 号館の管理・運営 * テナント募集 * 駐車場の管理・運営 * 空き家・空き店舗の紹介及び情報収集
犬山駅西口地区利活用事業	* 駐車場の管理・運営 * 駅西店舗(V ドラック)の利活用 * 市管理の駐輪場設置への協力
駐車場事業	* 民間所有駐車場の管理・運営 * 犬山城下町西駐車場の管理・運営
貳番屋事業	* 祭用品販売 * 新規商品の開発 * 視察受け入れ * 酒販免許による地酒・ワイン・リキュール等の販売
どんでん朝市事業	* どんでん朝市の開催支援（開催場所：下本町） * 新規出店者の募集
観光客誘致・中心市街地活性化事業	* 犬山特産品館の管理・運営（貳番屋 12 号館） * 各種イベントなどの支援・協賛 * 民泊、ゲストハウス等の事業の調査・研究 * 犬山城下町進化計画の調査・研究

犬山まちづくり株式会社 第24期 予算案

自：令和 8年4月 1日

至：令和 9年3月31日

勘定科目	予算額	備考
空き家・空き店舗事業収入	25,500,000	
式番屋売上高	250,000	
駐車場売上高	16,000,000	
どんでん朝市収入	88,000	
犬山特産品館売上高	26,000,000	
駅西店舗事業収入（Vドラッグ）	25,200,000	
純売上高	93,038,000	
期首商品棚卸高	551,833	
式番屋仕入高	150,000	
空き家・空き店舗事業経費	12,000,000	
駐車場事業経費	7,000,000	
どんでん朝市経費	0	
犬山特産品館経費	19,000,000	
期末商品棚卸高	500,000	
売上原価	38,201,833	
売上総利益	54,836,167	
販売費及び一般管理費	33,718,000	給料手当・減価償却費等
営業利益	21,118,167	
受取利息	100,000	
雑収入	10,833	
営業外収益	110,833	
支払利息	200,000	
雑損失	0	
営業外費用等	200,000	
経常利益	21,029,000	
税引前当期利益	21,029,000	
法人税等	6,500,000	
当期純利益	14,529,000	

【第24期借入金返済金】

支出科目	予算額	備考
建設協力金返済金	4,500,000	
短期借入金返済金	5,520,000	